

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.108 2018/7/24

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

今月号のトピックス

- 建築性能試験センターより
 - 研究紹介「非住宅建築物及び住宅の省エネ適合義務化対応と将来目標水準に関する研究」
- 北方建築総合研究所より
 - 研究紹介「吹込み用繊維質断熱材の長期断熱性能の研究」
- お知らせ
 - 7/27（金）『2018サイエンスパーク』に出展します
 - 8/9（木）『上川農業試験場公開デー』に出展します

-
- 建築性能試験センターより
 - 研究紹介「非住宅建築物及び住宅の省エネ適合義務化対応と将来目標水準に関する研究」
（経常研究 H28～H30）
安全性能部 評価試験課 遠藤
-

平成29年4月より、建築物省エネ法により、延床面積2,000m²以上の非住宅建築物の省エネ基準への適合が義務化されました。今後、適合義務化の対象範囲は、拡大されていく予定です。北海道はこれまで、北方型住宅の推進等により、戸建住宅の断熱性能で全国を先導してきました。しかし、本道における、省エネ基準の指標として導入された一次エネルギー基準への対応、戸建住宅以外の建物属性に対する基準対応の状況は明らかになっていませんでした。

本研究では、建築物省エネ法に基づく行政庁への届出結果や道内建築実務者へのアンケート調査を実施し、本道における省エネ基準の適合に向けた主な課題として、①共同住宅（特に、戸当たり床面積が小さい鉄筋コンクリート造住宅等）における適合率が低いこと、②特に延床面積300m²未満（現在、省エネ基準の適合に関する届出義務がない）の設計において、省エネ基準に基づく性能確認の体制が整っていないこと、があることが分かりました。そのほか、道内建築実務者は、現在省エネ基準で評価対象とされる以外も含めたさまざまな省エネ技術の採用意向があることが分かっています。

今後、道内建築実務者の省エネ基準への対応に関する実態把握をさらに進めるとともに、省エネ基準への対応方法に関する方策の提案、さらには北海道の省エネに関する将来の目標水準に関する検討を行っていく予定です。

▽6月の構造計算適合性判定業務の実績

受 付 12件 (13棟)
結果通知 10件 (11棟)

6月の判定依頼は、工場・整備場が3件、共同住宅が2件のほか、老人ホーム、学校・保育所、荷捌場、庁舎、ホテル、事務所、倉庫が各1件でした。

▼建築性能試験センター

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/>

■北方建築総合研究所より

□研究紹介「吹込み用繊維質断熱材の長期断熱性能の研究」

(H29～H30 一般共同研究)

地域研究部 環境防災G 下ノ菌

木造住宅の天井断熱には、吹込み用繊維質断熱材が多く採用されています。吹込み用繊維質断熱材は、複雑な形状の小屋裏空間にも均質な施工が可能であり、吹込み厚さの調節で所定の断熱性能を確保することが可能です。そのため、ZEH等の普及に向けて更なる断熱性能の向上が求められる北海道及び全国において一層の利用の拡大が見込まれます。

吹込み用繊維質断熱材は施工後、時間の経過とともに厚さが沈降する性質があります。そのため、所定の断熱性能を発揮するためには、その沈降量を見込んだ吹き増し率を設定する必要があります。2016年に改正されたJIS規格において、吹き増し率は断熱材製造事業者が指定することになりました。しかし、断熱材種別や周辺環境に応じた沈降量に関するデータがこれまでなかったため、経験則等に基づき、吹き増し率を設定していました。

そこで、道総研建築研究本部では、硝子繊維協会、ロックウール工業会、日本セルローズファイバー工業会と共同研究を実施し、吹込み用繊維質断熱材の沈降量について実験による検討を進めております。実験室で一定の温湿度条件下における沈降量を測定したところ、沈降量は周辺の温湿度によって、大きく変化することが分かってきました。また、実条件下における沈降量も1年間計測しており、沈降量の推移は概ね安定してきました。今年度は実条件下における沈降量を再現できる簡便な試験方法の提案をしたいと考えております。

■お知らせ

□7/27(金) 『2018サイエンスパーク』に出展します

北海道と道総研では、未来を担う子ども達に科学の面白さや楽しさを体験してもらうためのイベント「サイエンスパーク」を毎年実施しており、建築研究本部も毎年出展しています。

今年は、『建築のプロが使う色々な測定機器に触れてみよう!』と題し、サーモカメラ、傾斜計、荷重計、騒音計、風速計など様々な機器に触れ、その仕組みや使い方を体験することができるブースです。

他にも、道内の様々な企業や団体が40機関ブースを出展しております。ぜひご参加ください。(※一部申込みの必要なブースもあります。詳しくは下記チラシ

シをご覧ください。)

□日 時:平成30年7月27日(金) 10:00~15:30
□場 所:札幌駅前通地下歩行空間および道庁赤れんが庁舎・前庭
(建築研究本部はチカホ会場のいちばん大通側19番ブース)

▼2018サイエンスパークちらし
http://www.hro.or.jp/info_headquarters/event/event/2018science.pdf

▼詳しくは、こちらからご覧になれます(道総研HP)。
http://www.hro.or.jp/info_headquarters/event/event/2018sciencepark.html

■お知らせ
□8/9(木)『上川農業試験場公開デー』に出展します

上川管内には「上川農業試験場」「林産試験場」「建築研究本部(北方建築総合研究所・建築性能試験センター旭川オフィス)」と道総研の3つの機関があり、連携して様々な取り組みを行っています。

その一環として、『上川農試公開デー』に今年も出展します。建築研究本部のテーマは「アーチ橋チャレンジ」です。アーチ橋の模型を作成し、おもしろいいくつか乗せられるかチャレンジしてみましょう。

他には、上川管内のJAや市町村による食と農に関するブースがたくさん出展しています。ぜひご参加ください。

□日 時:平成30年8月9日(木) 10:00~14:00
□場 所:上川農業試験場(上川郡比布町南1線5号)
(建築研究本部は庁舎玄関ロビー)

▼詳しくは、こちらからご覧になれます(上川農業試験場HP)。
https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/kamikawa/koho/koukai_day.htm

=====

管理者からのお知らせ

=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら
https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n
変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/>